

正門側井戸について

1. 井戸修景設計

□現況



■整備イメージ

説明サインを設置。
石牆の景観配慮の観点や、歩行者の安全性配慮の観点から、一般的な立ち上がったタイプの説明サインは設置せず、床面埋め込みタイプの説明サインを設置する。

井戸跡は表面表示で表現する。
なお、歩行者の躓き防止や遺構の劣化に配慮し、遺構は用いない事とする。



- 石牆の景観と歩行者の安全性に配慮した整備とする。
- 井戸遺構は解体し、井戸と歩道面との段差を無くす。井戸跡は表面表示で表現する。なお、歩行者の躓き防止や遺構の劣化に配慮し、遺構は用いないこととする。
- 井戸跡を説明するサインを設置する。石牆の景観配慮の観点や、歩行者の安全性配慮の観点から、一般的な立ち上がったタイプの説明サインは設置せず、床面埋め込みタイプの説明サインを設置する。
- 解体した井戸遺構の保管方法については、引き続き県文化財課と調整を図る。

■床面埋め込みサインの事例

